

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成

代表者名： 千葉 喬三

所属機関名： 岡山大学

コメント

本提案は、細胞レベルでの分子イメージングとナノ・バイオテクノロジーの融合領域として、概ね 10 年～15 年後にイノベーションを起こし、革新的な技術開発並びに新産業の創出などが期待されるものと評価された。

尚、委員から、以下の様な懸念も出されているので、考慮してプロジェクトを進めて頂きたい。

人材育成と専門研究をベースとした研究が主たる内容となっている。目標が医療に限られており、イノベーションの創出という点で広がりおよびインパクトが不足している。